

【生徒用調査：自由記述欄】

「ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、あなたが家族のお世話をしていることで困っていること、要望等なんでも」

<必要だと思う支援>

1	子供が家族のお世話をするのはよくないと思う。もっと子供が不満を言いやすいような環境を整えた方がいいのではないかと思う。
2	市町村でアンケートをとり、ヤングケアラーに該当する人の居る家庭を知り、近隣で支援する。
3	学校などでの支援。
4	ヤングケアラー専用の相談場所または、相談団体を作り、悩みを聞いてあげること。
5	それぞれの地域でヤングケアラーをサポートする施設をつくる。
6	ヤングケアラーはまわりに相談を気軽にできる人がいなくて、近所の人たちに助けを求められない、理解してくれる人がいないなど、困っていることが多いと思う。なので、困ったらすぐに助けを求められる環境を整えるべきだと思う。例えば、できるだけ外に出て積極的に挨拶をしたり、何でもいいから話しかけてみるなど（天気の話、食べ物の話など）、近くにいる人と交流をする機会を増やすべきだと思う。
7	学校でも話せるような環境を整える。
8	ヤングケアラーの代わりになるような仕事（老人ホーム、孤児院）をもっと広める。他にもお手伝いさんなどの仕事を増やす。AIなどがヤングケアラーの代わりができるといいと思います。 大人がもっと子供と関わる。そのために残業などを減らす。 自分は、ヤングケアラーではないし、実際どれだけ苦労しているかわからないから、いまの生活に感謝しようと思いました。
9	最低賃金の増額。幼稚園などの子供の為の施設の建設。
10	ヤングケアラーの人立ちを支える法律や、支援する施設や人がいるといいと思います。
11	国から補償金などを提供する。
12	社会福祉サービスの整備（福祉施設の拡大や増築、高齢者や障がい者など関係なく交流会出来る場所の整備など）、海外には認知症患者の為の施設があり、遠くまで散歩などが出来る自由な空間があるところもあります。 あと、家族の定義が家に住んでいる人なら、祖父は違う家に住んでいますが近い所に家があります。
13	子供がもっと声をあげやすい環境作り。
14	家族以外で介護等をしてもらえるように行政が支援する体制を整えるといいと思う。
15	老人ホームなどの施設を積極的に利用してもらうために、施設自体の数を増やしたり、そういった施設を利用することへの偏見をなくしたりなど。一人で抱え込まないように話ができる人を作ること。
16	ヤングケアラーの悩みを聞いてあげる場所があればいいと思う。
17	オンラインで授業を受けさせる。
18	ヤングケアラーの人が気軽に相談出来る場所やヤングケアラーについて知る授業などがあればもっと多くの人に広まるんじゃないかなと思いました。 そして、相談場所の電話番号が書かれた名刺などを学校で配っていただければより多くのヤングケアラーの人が相談しやすくなり、自分の時間を1番に考えられるようになると思いました。
19	募金活動。
20	そのような人を支える人達を増やす。
21	ヤングケアラーについて理解を深め、それらを助けれる職業を増やす。
22	ヤングケアラーやサポートをする人の確保・増加。 ヤングケアラーという存在をもっと広めて様々な人達に理解をしてもらう。 ヤングケアラーの意見を知る。
23	そういう経験などが少ないため、困っていることはないが、ヤングケアラーについてもっと理解が深まり、介護施設などの補助金の見直しが大切になると思う。
24	ヤングケアラーの方々への補助金。
25	車椅子利用者が車椅子を室内でも使えるような建物を多くする。
26	簡単なことではないけれど、家事を手伝うこと、又はお世話を手伝う支援があったらいいと思います。

27	国からの支援。人材の派遣や物資の供給。
28	行政の支援。
29	支援金や周りとの協力。
30	募金。
31	申請したら世話してくれるような人を作るべき。
32	ボランティアを集める。アルバイトを募集する。
33	老人ホーム、幼稚園、保育園を増やす。
34	募金活動。
35	介護施設の拡張化と受け入れる親切さ。
36	ベビーシッターみたいな助ける人が必要だと思う。
37	支援が必要な方は、保護施設に入ってもらったりして、支援しているヤングケアラーの方も児童保護施設に入れるようにする。定期的に家にヘルパーさんとかに来てもらって、お手伝いすること。
38	助ける。募金をするような施設を造る。
39	体の不自由な人のお世話をする施設を建てる。
40	ヤングケアラーという言葉や意味を初めて知った。ヤングケアラーの方が様々な負担を抱えている事が分かっているのならば、支援金をあげるなどすれば良いと思いました。また、ボランティアなどで大人の方に手伝ってもらうなども良いのではないかと思います。 後何年かしたら、祖父と祖母の介護が必要になってくるけど父と母が仕事で忙しい時は私や弟、妹がしなければいけなくなるから、そこが少し心配です。
41	市の調査。家族との見守り。ボランティア。介護士。ヘルパーの給料の値上げ。
42	目安箱みたいなのを人通りの多いところに置く。
43	ヤングケアラーの人達の悩み相談のしやすい環境を創ること。
44	支援をする人が少ないのもっと増やしたほうがいいと思います。
45	行政が働きかけるべき。
46	介護士さんを全国に配置する。
47	お金をあげる。
48	ヤングケアラーの支援を行政が考え、日本の条例にすべきだと思います。
49	ヤングケアラーに対して、しっかり義務教育を受けることのできる環境を作ってあげたり、その負担が少しでも楽になる取り組みをするべきだと思う。 また、その取り組みをする団体、施設を作ってあげるとヤングケアラーもつらい思いをすることないと思う。
50	年に一度学校でヤングケアラーの調査を行う。 見つけたら学校や市役所で補助金などのサービスや金銭的なものを補助することがいいと思います。
51	支援金を渡してあげる。
52	困っていることを誰にも言えない人がいると思います。電話などではなく、LINEなどのソーシャルネットワーク機器で、自分のことを話せる場所があるといいと思います。 精神的にくる前に気持ちを吐ける場所があるといいと思いました。
53	申請出せば援助してもらえるシステム。 実際に、ヤングケアラーになってた兄が妹を殺害してしまう事件がつい最近あったから、深刻に捉えるべきだと思う。
54	ボランティアを集める。
55	みんなが少しでもお金をあげてヤングケアラー助けてあげたい。

	<p>ヤングケアラーの支援を広げていくためには環境作りが大切だと思います。学校にヤングケアラーに関するポスターなどをはる。授業をする。など生徒が相談しやすい環境を整えることが大切だと思います。</p> <p>そして家庭環境も。ヤングケアラーに関するプリントのようなものを学校から配布するなど、家族が知らない状況が一番最悪なので家族の理解を深めて家庭でも相談しやすい環境作りも。</p>
56	<p>町の環境も整えた方がいいと思います。老人ホームなどをちょっとずつでいいので増やす。</p> <p>あと、子供を労働力として勉強の時間を削ってまで仕事をさせると言うのもあります。それはどうなのでしょう。</p> <p>僕の意見としては、子供が十分な教育を受けなかったり、自分のやりたいこと、仕事などを目指せないのは悲しいです。なので、どうにかしてヤングケアラーを減らせたなら嬉しいです。そう簡単にはいかないかもしれませんが、少しずつ前に進めたらいいです。</p>
57	ヤングケアラーの人達がもっと楽に生活などを送れる制度を作ったらいいと思う。
58	お金を送って病院に入院してもらう。
	ヤングケアラーという言葉を知りました。
59	ヤングケアラーの方に様々な負担がかかっているのならば、支援金を上げるための募金活動をしたり、ボランティアで大人の方に手伝ってもらったりすれば良いのではないかと思います。
60	ヤングケアラーの家にヘルパーさんなどを派遣する。(費用は道や市町村が負担する。)
61	お金。
62	ヤングケアラーの方が、時間のない中でもしっかりと勉強できる場所を整えることが大事だと考えます。
63	保護施設。お金の寄付。
64	学校でヤングケアラーを支援する会などを作って有志の生徒を派遣するのはどうか。
65	道だけでなく、国でより良い政策を早く検討して、実施していくべきだと思います。
66	ヤングケアラーの方を支援する機関を作ることが必要だと思う。
67	悩みを相談できる場所を作ること。自分のことをできる時間、自分を大切にできる時間を作ること。
68	経済的支援があれば、専門の人に頼めるので、子供が窮屈な思いをしなくて済むと思います。
69	1人親家庭への金銭的、お世話代行サービスの向上。共働き世帯への支援向上。病気に罹った時の支援。アルバイトをする時間が取れなくて、進学する費用を確保することが厳しい子供への金銭的支援。
70	誰にも言えずに苦労している人が沢山いるから、このように匿名で相談できるサービスをもっと頻繁にする。
71	まずは実態を明らかにすること。ヤングケアラーを助けるために、代わりにケアをする人を派遣するなどのサービスを提供する。
72	子供が安心して学ぶことができるような社会システムの構築が急務だと思う。
73	そんな簡単な話ではないけれど、支え合える社会になったらいいなと思った。みんなの悩みをもっと吐き出せる場所があるといいと思う。
74	政府の協力。
75	児童相談所の人だけではなく、周囲の自立できている人が手助けをして、健全な生活を送れるような環境にすることが必要だと思う。
76	金銭面での支援と、協力して助け合える環境が必要だと思う。
77	一つ一つの家族の実態調査。手厚い支援。
78	専門家の方を増やしたらいいと思う(自治体や行政)。
79	困ったときに誰でも、誰かに助けを求められる環境があると良いと思います。
80	ヤングケアラーを減らすために、地方自治体が、該当者がヘルパーなどを積極的に利用できるような環境整備をしていく必要があると思う。
81	募金。
82	募金。
83	子供の実態把握強化と地域社会でのより綿密なネットワーク形成が必要だと思いました。
84	ホームヘルパーの方々などに子供が簡単に連絡をとることができるアプリがあると子供たちは安心して学校などに通えると思います。
85	ホームヘルパー、社会福祉協議会の利用者への配慮。利用者や家族との連携を取らず、社協スタッフの都合で勝手に動く納得のいかないシステム。ヘルパーの方々が良い人達でも、上に立つ人がそんな考えでは全くダメだと思います。

86	ヤングケアラーの居場所を作ることが必要。
87	介護職員の人数を増やす。施設を増やす。
88	母子家庭や父子家庭などの家庭経済が充実していない家庭に毎月補助金的なものをあげる。
89	施設があるといい。
90	募金活動をする。
91	ヤングケアラーを減らすためにヤングケアラーを専門とする職業をつくるといいと思う。
92	ヤングケアラーを減らすことは出来ても無くすことは出来ないと思う。ヤングケアラーとしている子ども達の生活が少しでも楽になるような支援や職業が出来ればいいなと思った。考えてあげることは簡単な事だけど、行動に移したり子ども達の役に立てるまでは時間のかかることだと思う。学校などの場所から発信できることは積極的にしていって影で悩んでる子ども達の意識や環境が変えられると思う。
93	支援を広げていくためには、募金を始めたら良いと思います。
94	金銭などの負担を自治体をもっとすれば良いと思う。
95	市からでも道からでもいいから、支援金で、援助するとか、家政婦というか介護の人というか、そういうボランティア活動を、してくれる人たちも探せば少なからずは、居るからそういう人たちに頼んだり、道内の職員たちも現場に行き状況確認してくれると助かるのでは、そう思います
96	色々なヤングケラーを助けることができる制度を作る。
97	ヤングケアラーの家庭への、ヘルパーの派遣、金銭的な補助。 募金呼びかけ、クラウドファンディングなどの活動。 テレビなどで取り上げて、沢山の人に知ってもらう。 お年寄りや、障害者の入院費用などを確保。
98	ヤングケアラーの方が集まれる場所やコミュニティがあった方が良いと感じました。いつも思っていることや、同じ境遇の人がわかることで、孤独感やストレスが軽減されると思います。
99	ヤングケアラーを広めていって誰でもいつでも言いやすいようにすることが必要だと思う。 (相談できる場所を作るなど)
100	過ごしやすい環境づくりや、気づかいが必要になると思う。また、寄付などをしたりして支援することも必要だと思う。
101	子供の育つ時間を上げたほうが良いとおもうからそういう子供を支える仕事を募金や税金などでやとうみたいな感じで大人の手で助けて上げる仕事があるといいと思う。
102	ヤングケアラーのいる家庭を把握して補助金などを渡すことなどをすれば楽になるんじゃないのかなと思います。
103	介護しやすい環境を作る。優しい心を持つ。
104	ヤングケアラーとして自分の悩みを周りに言えない子が、気軽に相談できたり、相談できるような空気づくりをしてほしい。ヤングケアラーのことを広め、今の状態に対して社会全体で考えていけるようにしてほしい。
105	ヤングケアラーのいる家庭をこのようなアンケートで見つけ、その家庭の高齢者の老人ホームの費用を安くするなどのことが必要だと思います。
106	学校などの取り組みで取り入れる。
107	誰でも入れやすい障害者支援施設を作ればいい。
108	ぼくはヤングケアラーたちに、AIをこうゆう家庭に導入すればいいと思います。家事など、そういう作業は難しいと思いますが、幼い子のコミュニケーションや、色々な人のお世話をしてもいいと思います。世話の記録を動画にとって共有したりしてもいいと思います。ギャンブルやお酒、薬のもんだいは、精神を整えるために修行をするみたいなことをしなきゃいけないとおもいます。でも、こうゆう過程をたいけんし、人の振り見て我が振り直せ、をしてもいいとおもいます。
109	介護の手助けの支援を国から出してほしい。
110	困りごとを相談できる環境を設けること。
111	ヤングケアラーの大変さを身近に置くために、支援ボランティアを結成してみる。
112	介護をできるだけ施設でする。
113	国、自治体から支援をする。
114	法律の見直し。ヤングケアラーへの支援。
115	施設などの預けられる環境を増やす。

116	介護士を増えるような制度をつくり介護施設を増やすこと。
117	ヤングケアラーのための支援を作ったりする。たとえばヤングケアラーの家は介護士さんをつけるとか。
118	一人で抱え込まない環境を作る。このような匿名のアンケートを広げる。
119	ヤングケアラーで困っている子供やケアのために自分のことをできない大人がたくさんいると思うからどこか税金を削ってこのようなことに支援したほうが良いと思った。
120	ヤングケアラー募金を行ったら良いと思う。
121	家族に障害を持っている人がいて、介護する人が18歳未満の人しかいない場合介護施設に任せられるようにすること。 ヤングケアラーが家でも学習できるような設備を整えること。 家族の介護をしているときのうけれなかった授業を受けれるようにすること。
122	ボランティアや誰か頼れる人をつくる。食料提供などのお金の支援をする。勉強がちゃんとできる学生らしい生活を与えてあげる。
123	介護に対しての周りのサポートを必要とするときに力になってあげられる人を増やすことが必要。 また介護が必要な方をこのようなヤングケアラーになる前に施設に入れるなど負担を少なくすることに対しての整備が必要。
124	ヤングケアラーの人が持つ悩みを気軽に相談できる環境を整えることが必要だと思う。
125	ヤングケアラーに給付金を送ってほしい。
126	ヤングケアラー、又はヤングケアラーだった人の法律を作る。
127	困っている人から直接話を聞くのは難しいと思うから気づいてあげられるサービスを作れば良いと思う。
128	もっと国の人々が全体的に理解をし、支援できる国に近づけて行けたら良いと思った。 そして、そのような暮らしをしている人たちを助けられる施設をたくさん作ったら良いと思った。
129	こればかりはどうしようもない。もうちょっと保証をしたりすれば良いと思う。お金余ってるはずだからそういうお金をヤングケアラーの方に回せば良いと思います。
130	経済的に支援したりする。
131	地域ごとで相談する人を配置する。
132	ヤングケアラーの時間を作る為、家族を施設に入れたりする。負担を減らす為介護の人を貸し出す。お金の給付など。
133	お金を募金する必要がある。
134	資金提供。
135	学校から配布されたタブレット等で授業の動画を撮って配布すれば自分の好きな時間に勉強出来ると思う。
136	市役所などが、そういう人のためへの支援を無償でやったりしたほうが良い。
137	1人で悩まない環境を作ってあげること。
138	自分の環境を話せる場所を設ける必要があると思う。
139	誰かに助けを求められる環境をつくる。
140	家族だけではなく、お世話を手伝ってくれるケアマネージャー？みたいな人が何人かいるといいと思います。
141	ヤングケアラーとなっている人たちを把握・支援する法制度が必要だと思う。 また、ヤングケアラーのことを理解する人が少ないとも思った。 ぼくだって、このアンケートによって、詳しく知ったので。 いじめによる自殺者が増加している今日で、ヤングケアラーとなっている人をいじめにあわせてしまうのは絶対にあってはならないこと。 小・中・高校生を対象にした、講演会なども大切になってくると思う。

142	<p>自分はヤングケアラーではないのでよくわからないが、そういう子への対策やまず知ってもらえる機会が増えればと思う。</p> <p>自分もこのアンケートで初めて知ったので、まだまだ知らない人も多いと思う。</p> <p>多分、ヤングケアラーのような子たちに比べたら自分なんか大したことだと思ってないだろうなと感じる。普通に過ごしている子も悩みは多いと思う。そんなに気軽に相談窓口には掛けれないし、だからと言って人にも相談しづらい。気軽に相談しやすいような、例えば今はSNSをやっている人も多いから、チャット式のような相談しやすかったり、思っていることを言葉にできたりする場（人を傷つけないような工夫は必要だが）が増えてくれると個人的に良いと思う。</p> <p>気持ちを吐き出せる場も少ないのに、悩みなんてものは尽きないのでストレスが溜まってしまう。だから、なんかそういうところがあってほしい。悩み相談を友達同士ですべてでも限界があったりするのでは。</p>
143	ヤングケアラーと一緒に世話をしているような人を貸し出しできる会社をつくる。
144	ヤングケアラーの方は、介護や手伝いをしているせいで自分の勉強や自分の自由の時間がないと思うから、もっとその方達を理解して周りが手助けしてあげたり、市町村などが支援してあげる必要があると思う。
145	<p>ヤングケアラーを支援するためのわかりやすい仕組みを整備すること。</p> <p>学校の先生が面談などで困っていないか確認して、もし困っている子がいたら専門の相談機関に繋ぐ仕組みを作ること。</p> <p>ヤングケアラーについての知識を広げること。</p>
146	人々がヤングケアラーについて知らなかったら、支援も何もできないと思う。なので、まずこの問題を認識させてから、ユニセフなどの募金を実施して、集まったお金でヤングケアラーの人たちを助けたら良いと思う。
147	ヤングケアラーを支援するために国が支援するシステムをつくる。学校に相談出来るところをつくる
148	その家族に介護士などを派遣して、手伝ってもらったりしたら少し生活が楽になると思う。
149	<p>私は、お世話をされている側なので、特に困っていることはありません。</p> <p>中学生や高校生が学業に集中できるように、ヤングケアラーにならないように、経済的に支援しサポートしてくれる相談窓口があればいいと思います。</p>
150	ヤングケアラーの人たちのためにヤングケアラーの人たちが食事をするところや勉強をする所を増やしたらいいと思います。
151	国の補助制度を知って利用すること。
152	<p>困っていることや悩んでいることなどを気軽に相談出来る所(SNSなどでも)があるといい。</p> <p>学校で相談出来る所もあるみたいだが、周知されてなく</p> <p>どうしていいかも分からない。</p> <p>相談したくても周りの目もあるし、スクールカウンセラーの先生がいることはわかるが、どの先生かも分からないし、あったことも無い。</p> <p>全く意味がない。</p>
153	ヤングケアラーへの支援のために手伝い、施設、支援団体の作成・活動を広めていくことが必要だと思う。
154	自分の気持ちを伝えることができる場所を作ることが必要だと思う。
155	援助してあげたらいいとおもいました。
156	政権交代して欲しい。国会議員の給料、経費等を削減して欲しい。そのお金を福祉等に充てると良いと思う。
157	国や地方公共団体からヤングケアラー向けの支援金を支払うことだと思います。
158	悩んでいる人が気軽に相談できるような場所を設ける事で悩みが軽くなったりどう接していけばいいかわかったりするんじゃないかと思います。
159	<p>ヤングケアラーへの支援は必要だと思うため、ヤングケアラーの調査をできる限り行い、無理を承知しているがお金を渡していったり、手伝ってあげたりしてあげたら良いのではと思う。</p> <p>このような調査をどんどんして今の現状を知り、困っている人に支援の手が届くようにして欲しい（母子家庭・父子家庭や虐待、毒親に困っていないかなど）。</p>
160	やはりその人達やアフリカの貧しい子供たちもお金が必要だと思うのでこつこつと支援をしていくことが大切。
161	<p>ヤングケアラーの人は、身内のことなんだから仕方がないと諦めてしまっている部分が少ないからあると思うので、支援を積極的に求める人は少ないのではないかと思います。</p> <p>そのため、学校などの教育機関と地方自治体などの連携が上手くいくと、自分では気づきづらいSOSも発見されると考えます。</p>

162	<ul style="list-style-type: none"> ■ヤングケアラーの幅広い認知のため、マスメディアで取り上げる ■ヤングケアラーへの身体的・精神的な支援 ■ヤングケアラーへの偏見を無くす配慮 ■ヤングケアラーが「自分はヤングケアラーなんだ」と自覚を持てるよう、学校等で学びの場を持つ ■ヤングケアラー専用のSOSダイヤルや窓口 ■ヤングケアラー代行サービス
163	国からの金銭的支援や心のケアが必要だと思う。
164	<p><ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低限の生活費の支給 ・心身の健康が保たれる仕組み ・そもそもヤングケアラーになりにくい環境の整備 <p><意見></p> <p>こういったアンケートが実際に反映されていることは、私は見たことがないのですが、本当に私たちの意見を参考にし、検討しているのですか。</p> <p>もし私のもとに情報が行き届いていないだけなら申し訳ないですが、ろくに参考にせずに検討しているのではないかと考えたので書かせていただきました。</p> <p>アンケート結果が参考になったのならば幸いです。</p>
165	世話されてる人に施設等の無償提供をする。
166	給付金制度を作る。
167	少しでも募金を増やして困ってる家族に寄付をし介護施設とかに行けるようにする。
168	<p>あらゆる事情がある家族がいることを社会が認知して、その上で地域などの助けとか協力があればいいのかなと思う。</p> <p>難しい問題なので先生とか信用のある身近な大人に相談しやすい環境があればいいと思う。</p>
169	ヤングケアラーが相談できる場所・人の整備。そのための国からの財政支援。
170	プロジェクトなどを行って、少しでも子供が楽になったらいいなと思いました。
171	無償で食料配布。
172	<p>治療を行うにあたって本人が非協力的な態度を取ることが多々あり、それが介護疲れに繋がっていくように感じます。祖母は糖尿病を患っているのですが間食が多く血糖コントロールが難航しています。服薬指導を守らない、介護者の指導に対する根も葉もない陰口を広めるなど反抗的な態度もみられることから、介護者の心労がより重なっています。</p> <p>要介護者の治療と共に介護者へのメンタルケアが必要と思われるので、ショートステイの充実など取れる選択肢をより増やして欲しいと思います。</p>
173	<p>個人的な意見ですが、私だったら一人になれる時間がほしいです。私は、少し前まで母との二人暮らしでした。今は同居人が増えて嬉しく感じることもあるのですが、完全に一人になれる場所、時間帯もなく精神的に疲れることがあるんです。（それでたまに、いとこの話を無視したりしてしまうのですが…。）なので、誰の話し相手もしなくていいような場所がほしいです。あとは、気軽に相談できるところがほしいです。私の学校には、学校カウンセラーとかもあるのですが、担任の先生に相談してからでないと相談できないとか、昼休みには学校にいない、など利用しにくいと思います。それだったら、電話相談でもSNSでもやればいんじゃない？とお思いになるでしょうけど、私は、顔を合わせて第三者に話を聞いてもらいたいのです。（学校カウンセラーが利用しにくいという話です。）</p>
174	政府が社会福祉への援助を積極的に行うことが重要だと思う
175	<p>息抜きをしたい時に家のことを代行してくれる人がいると助かる。</p> <p>塾へ行きたくても家にいる母が体調不良で送迎が出来ない、塾代も工面出来ない。 進学したいが先のことが不安。</p>
176	その人以外にも世話出来る人を派遣する。
177	支援金を出す。
178	このような状態にいる子供などがいることを広めて平等に生活できるように支援金募集なども活発に行うべきだと思う。
179	子供だけが介護をしないようにボランティアを募集する。

180	実現まで様々な問題があると思うが、ヤングケアラーに対しての支援制度をもっと充実させるべきだと思う。 例えば、補助金、生活支援など また、学校に行ったり勉強する時間が普通の人よりも少ないと思うので、正規のカリキュラムとは違った特別対応をすべきだと考える。
181	家族のケアをしながら自分の事もしなくてはいけないので、金銭面での支援や心のケアをしたりすることが必要だと思いました
182	4月頃の生徒と先生が二人で進路相談などをする時に、特に部活をしていない人にヤングケアラーではないか聞いてみて、もしヤングケアラーだった場合は、その人が電話などで相談できる場所を教えたりするのが良いと思います。
183	環境を整える。
184	色々な事情でヤングケアラーになってしまった人がいる中で、私もはじめて知った様にまだこの言葉を知らない人がたくさんいると思うので、まずはそのような人がいるということを知ってもらうために、ポスターを作ったり募金をしたり、またヤングケアラーの人のための相談窓口のようなものをつくってあげるのもいいのではないかと思います。
185	経済的支援、気軽に相談できる場所を作ること、助けを求めてそれに応えてくれる場所や環境づくり。
186	簡単な世話ならいいが、あまりにも介護などで時間が取られて、自分の勉強の時間や自由な時間が無くなっているのは問題だと思う。お金の問題で解決できるならその支援をして欲しいと思う。
187	お金のことでの援助が必要だと思う。
188	募金をしてもらおう。
189	金銭的な支援。
190	支援金を出したり介護者へのサービスなどをするといいと思う。
191	手伝える人を家に送ったりする。
192	ヤングケアラーへの周りの理解や考え方で、生活が楽になったり自分の将来の道に進めると思いました。なので一人一人の理解が大切だと考えました。そして、困っていることや助けて欲しい時などには周りに相談できる人がいるといいなと思いました。
193	祖母とは別に暮らしているのですが、母と私でよく祖母の家でゴミ捨てなどを行っています。 特に政府などからヤングケアラーに対してのお金（進学費）などがあったらヤングケアラーの人たちも少し楽に過ごせると思います。
194	便利な道具の開発。家の環境改良。
195	町内の子供達が見られるようにポスターなどで、参加してくれる子供達を増やして、困っている人を少なくできるようにする。
196	障害を持った人などを預けたり、お世話する施設をもっと増やすことができれば、ヤングケアラーの数も減ると思った。
197	ヤングケアラーのために病気を持っている人などを助ける、支援する人をもっと増やしたり、すればいいと思う。ほかに、ヤングケアラーの人は、勉強などができないから、勉強できる場を設ければいいと思う。（ヤングケアラーの人専用の学校など）
198	もっと支援できる施設を増やせばいいと思う。
199	お金の支援など介護師を週1で訪問など。
200	お金。
201	介護しなければいけない家族を子供たちでなく、国や地域でサポートできる環境を作ることが大切だと思う。
202	世話が必要な人を預ける施設を増やす。
203	障害や病気等を持った父母等がいる家庭では、支援金とヘルパー等をつけ、子供に負担がかからないようにする。
204	児童相談所などにもし当事者として行くとなると、正直この年齢だと周りが気になって相談できないかもしれない。学校やこのような調査をもっと身近な方法で相談できるといいと思う。（匿名のSNSアカウントを広めるなど）
205	ヤングケアラーの人のために学費や生活費を配布してあげる。
206	フリーダイヤルを作りましょう。
207	ヤングケアラーなどの問題で家族も子供も困る前に前に市や施設に頼れる環境をつくっていくこと。
208	若い人がお世話をするとすると、自分のための時間が少なくなったり、自分のことを第二に考える人も多くなってくると思うから、ヤングケアラーの人を手伝ってくれるような仕事もあっていいと思う。

209	親が働けない家庭への経済的支援。
210	高齢者や小さい子供をあずける人が安心してあずけられるような施設をつくる。
211	保育園や介護施設を増やす。
212	募金をして集まった金額を支援にまわす。国や市町村から支援に何かしらの寄付をする。
213	少しでもヤングケアラーの人々の支えになれるよう、ボランティアや相談窓口などが必要なのではないかと思いました。
214	より多くの人に知ってもらう。募金をする。
215	ヤングケアラーの実態調査を幅広く行い、障害を持っている家族がいる人は、例として、家族を開放感のある公園など独自の施設を作り、そこに一時的に預け、負担を減らしたりする。また、薬物依存症の家族を持つ人は、更生施設のプログラムを受けたり、カウンセリングをしたりと、薬物をやめさせるようにしたらいいと思う。
216	募金などで生活費を楽にする。
217	生活費などの支援をする。
218	ロボットなどの機械でお世話する。
219	お世話をする人をもっと増やしたらいいと思う。
220	ヤングケアラーへの募金。
221	ヤングケアラーのみなさんが気軽に相談できるような電話相談や施設などを設けたらいいと思います。
222	一人で抱え込む前に、みんなで協力して助け合うべきだと思います。 安い老人・子供を面倒見る施設を造る。あるいはボランティアなどで面倒を見て貰う。近所に住んでいる人に助けて貰う。
223	子ども食堂。
224	サポートしやすい環境をつくってあげたら生活しやすいと思う。
225	相談できる場所をつくっていくことが必要だと思う。
226	妊婦さん用のキーホルダーがあるように、ヤングケアラーだというキーホルダーを作ったり、支援するために、家に来てくれる人が居る団体などを作る。
227	近所で関わりを持ってお互い助けあうようにする。難しい手続きをなくして相談しやすい窓口をつくる。
228	障害を持っている人を施設に入れてあげたりして、ヤングケアラーの人の手助けをすることが必要だと思った。
229	ヘルパーさんを安く雇えるようにする。
230	いつでも誰でも電話が出来るような環境を作ること。 世界中でヤングケアラーの理解を深めること。 本人が1人で悩まないようにできるようにすること。
231	ヤングケアラーをしている子供を助ける人を作ってあげたらいいと思う。
232	新しく人数を増やしたり、スーパーなど人通りの多いところに募金箱や実際に行っている人の声を利用して人手不足をなくしたり資金不足をなくしていくといいと思った。
233	国からの補助がもう少し必要だと思う。(施設、補助金) 申請を知らない人や何もわからず自力で頑張ってる人もいると思うので、使えない政府だけど頑張って欲しい。
234	ヤングケアラーが現在どのくらいいて、お互いが助け合えるように、教師が悩みをいつでも聞けるような環境を作ったり、総合的な探究の時間に『ヤングケアラー』という言葉だけでもいいので、知ってもらうべきだと思う。
235	応援。お金。
236	食事に困っている人は周りの目も気になるので、なかなか行動にだせない。 学校で、話をしながら軽食を無料誰でも食べることができるフリールームをつくったり、コンビニなどで学割で格安で買えたりすると良いとおもいます。 そういったところで、支援のカードを配ったり、誰もが目にする事ができるようにするのがよいと思います。
237	きちんとした教育を受けられるように家庭の方をサポートしたり、お金を援助するなどして支援することが必要だと思う。
238	ヤングケアラーの人たちにもう少し優しい制度があってもいいと思う。
239	施設を増やしたり、子供とかが変わりにお世話とかしているところもあるから施設老人ホームなどふやしたほうが良いと思う。
240	補助金制度を作ること。

241	募金活動を積極的にする。
242	支援金。相談しやすい先生・大人。サポート事業。
243	ヤングケアラーに対し、直接支援することは今に自分にはできないかもしれないが直接ではなく募金をするなどいろいろなところで支援が出来ると思う。
244	手伝いをする仕事を作り、手伝いに行くのがいいと思う。
245	募金などをしてヤングケアラーの方々に寄付する。
246	ヤングケアラーに対しての国からの支援。
247	体が不自由な人を子供が世話すると大変だから、そういうことに協力してくれる大人を貸し出しする所が必要だと思う。
248	福祉施設をもっと普及させる。
249	ヤングケアラーの方が実際に意見を広める場を作ったほうが良いと思った。
250	大人の人が手伝うことをしたほうが良いと思います。
251	ヤングケアラーの支援を広げるには影響力のある人が、ネットだったりいろんな人が見てくれるような活動をする必要があると思います。
252	ヤングケアラーの方をサポートする職業がもっと増えたらいいなと思いました。
253	ヤングケアラーのための雑誌（何をすればいいのかわ、ヤングケアラーとして生きてきた人のことが書いてある）などがあると少しでも楽に過ごせるのではないかと思います。
254	介護施設を充実させることが、ヤングケアラーの支援になると思います。 どっかの企業で、業績の悪い人は介護部署送りにして辞任させるという頭の良い仕組みを作った企業がありますが、やはり、世の中の介護職に対するマイナスイメージと相反するように介護職を非難できない空気感。 それを払拭することで新任介護士が増え、介護施設を充実させることができると思います。 当然も増えると思いますが、対策はあります。 将来、PCの使える老人が増えると思いますので、介護施設ワークなんかでも増やして、若者の負担を減らしてほしいです。
255	支えてくれる人達が増えたらいいんじゃないかと思います。
256	そういう大変な人達はアンケートをとっても、親に申し訳ないなど思い書けない人が沢山いると思うので、簡単にお話ができるような環境を作ることが大事だと思います。
257	本人の心の支えになる存在や、場所が必要だと思います。
258	ヤングケアラーをしている方々への支援金などの援助。
259	私の家族の中には障がい者や病気の人はいませんが、市内で支援金をあげたり、介護士の人をヤングケアラーの人のところへ行って手伝ったりする必要があると思います。
260	ヤングケアラーの子どもたちの学びを遮らないように支援することや、学校でのいじめなどをなくすような指導を勧め、みんなが理解できるように広めることをすることが重要であると思はる。
261	ヤングケアラーの人たちが安心して学校などに行けるように訪問介護の人に来てもらう。
262	ヤングケアラーの子がいるか確かめるためにアンケートをパソコンでできるようにして半年に1回ほどアンケート調査を行うとヤングケアラーの子たちを支えるためにどういうことをしたらいいか分かります。
263	施設を造る。そういう人がいたら助ける。
264	ヤングケアラーの子たちが相談しやすい環境が必要だと思う。
265	小さい子とかに分かりやすく教える場所を作ること。
266	子供のうちはたくさんやりたいことがあり、その中で好きなことができずに家事やお世話をしなければならない状況にあるのはとても悲しいことだと思うので、国からの支援金を出すなどして、自分の時間を作ってあげることが大事だと思います。
267	経済的不安を少しでも軽くしてあげてほしい。
268	学習状況を整える。
269	ヤングケアラーを行っている人たちは大変なんだろう・・・と思うので、お手伝いさんやヘルパーさんを雇うべきだと思います。
270	相談できる場をつくる。
271	地域の人たちで協力したり、そういうのを手伝うボランティアをつくる。

272	介護できる人手を増やしたり近所の方からの支援など頼れる大人に相談したりする事が大事だと思います。
273	ヤングケアラーへの支援を広げて行く為には、ヘルパー人の人数拡大や、金銭的援助などのことが必要だと思います。
274	既に存在しているのかもしれないが、ボランティアとしてヤングケアラーの人のもとへ赴き、ヤングケアラーの手伝いや、ケアラーのケアなどをしていく事が必要だと思った。
275	学校や地域で把握できる環境を整える。
276	ヤングケアラーのことを知っている人を増やし、理解者・寄り添える人を増やす。
277	もっと近所の人と助けあいができる環境をつくることだと思います。
278	施設の充実や自宅訪問。
279	身近にそういった境遇友人がおり、勉強部活動諸々がある中で一生懸命やっています。その中でも、祖母との喧嘩や言い合いなどの愚痴を聞いたりします。こんなに一生懸命頑張っているのに、とってしまいます。私に出来ることはその子の愚痴を聞いてあげたりとメンタルケアのようなものです。話を聞くだけでも肩の荷が少しでも軽くなったりするかもしれませんが。そういった人達専用の相談施設のようなものを設けてはどうでしょうか。
280	頼れる環境を作る。
281	福祉を広げるにも、税金の問題があるため、地域のボランティアで困っている人が助けられるのではないか。そのためにもヤングケアラーの実態を社会に広報するべきだと考える
282	税金を使う。
283	ヤングケアラー支援金を給付して下さい。マスクを配る金があるくらいなら。
284	資金援助。
285	資金援助。
286	ヤングケアラーが学校に行けるように、午前などはヘルパーさんを派遣したらいいと思う。
287	ヘルパーを増やす。金銭的支援をする。
288	ボランティアなどを利用し、少しでもヤングケアラーの人たちの負担を減らす様にする。
289	障害者支援施設などを駆使していくことが大切だと思う。
290	生活保護。
291	支援を広げるには、ヤングケアラーの人が誰かに気軽に相談できるような環境づくりが必要だと思う。
292	ヤングケアラーは負担が大きく、誰からも報酬が貰えるわけでもないのでも少しでも手伝いをできる機関を作るべきだと思う。
293	ご飯を無料配達。
294	介護士が1人くらいいてくれてもいいと思う。
295	ヤングケアラーへの募金。
296	募金活動やボランティアみたいなのをヤングケアラーさんたちに支援としてするといいと思います。軽度の障害がある弟との接し方がわからず、つきつくあたってしまいます。弟を何回も喧嘩で負かして泣かしたりしてしまっているのに弟は私を嫌いにならず、好きでいてくれるのですが、私は仲良く出来ず。。。母は弟の味方なので私の気持ちはわかってくれないので、どうすればいいか悩んでいます。
297	助けを求めやすい環境を求めること。
298	介護施設に入れてあげられる金を支援してあげればいい。
299	介護施設の人数不足を無くすること。
300	高齢者が増えつつある世の中なので、今まで以上に少ない金額で介護施設等に入居できるようになったらいいと思う。待機者が多いようなので、その人数も減ってほしいし、金銭的余裕があまりないという理由で自宅介護せざるを得ない状況を減らしてほしい。
301	高齢者や障害者が入れる施設をつくれればヤングケアラーが減ると思います。
302	『ヤングケアラー』という言葉聞いたことのない人やその意味を知らない人がまだ沢山いると思います。私もその一人でした。支援を広げていくためには、まだこの言葉を知らない人や、自分には関係ないと思っている人を減らし、相談をできる場を増やすことが大事だと思います。1人で不安を抱えずに、吐き出せる場所。これが必要だと思いました。
303	お金がなくても入れる障がい者の施設を多く作ったり、家に来て兄弟の世話をしに来てくれる人が多くいれば、困る人が少しは少なくなると思う。

304	本来やるべき大人がいない場所、家庭に人材を派遣できるような仕事や、リモートで介護・通訳などできる団体を作る。 親が仕事でいない家庭を減らす。 近所の人たちが協力して介護などをできるよう、自治体が呼びかける。
305	介護施設を増やすことが必要だと思います。
306	こんなに優しい人達を知らなかった自分自身に対して悔しいです。広めるためには周りの人から募金活動をしたほうが良いと思います。
307	ヤングケアラーに関する仕事をつくる。金銭面の支援（募金）など。
308	ヤングケアラーの人たちが自由に過ごせるように、お世話が必要な人の介護をやってくれるという仕事ができたらいいと思います。
309	家族一人だけでも早く仕事が終わるようにし家のことができる時間や状況を作るといいと思います。
310	食べ物を与える。お金なく満足に食べることができない人達を助けることができると思います。料理をする時間もなくなるので家族と話す時間も多くなると思います。
311	ヤングケアラーの人達のサポートをしてくれる人を探し、学生のサポートをしてくれる社会を作れば良いと思う。
312	ヤングケアラーの人を徹底的に探し出す。費用などをできるだけ支援する。
313	こどもが学校へ行っている間にサービスを使用し、負担を地方自治体で支援するという方法や、居宅サービスとして扱い支援するという方法を行う。 ヤングケアラーの方の相談や意見を聞けるよう窓口の開設、世の中に周知し支えてあげられるようCMやテレビなどで取り上げ、SOSを聞けるようにする。
314	そんな子供がいますって事を世界中に教えて支援金を貰う。
315	ヤングケアラーの人が助けてもらえる場所を作ればよいと思います。
316	障害や病気がある人は、お金がなくても病院や介護施設に行けるようになったらいいと思う。
317	支援(老人ホームみたなやつ)をはいりやすくしたりする。
318	相談できる相手。たくさんのお金を寄付。
319	ボランティアをしてくれる人を沢山増やしていき、活動していけばいいと思う。
320	テレビドラマで高校生が妹弟の世話をしているシーンなどを見たことがあるのでそのような人たちがいることは知っていたけどヤングケアラーという名称があることは初めて知りました。できるだけ早くサポートしてあげてほしいです。募金などがあつたらしいと思います。
321	支援を受けることに対して何かしらの抵抗がある人が多いと思うしその周りの人からの偏見が多いと思う。ネット社会の今、顔が見えないのをいいことに簡単に人を傷つける言葉を書く人が少なからずいるのでそういうところなくなっていく限り支援は広がっていかないしそれを知ることも難しくなっていくのではないかなと思う。もうあるかもしれないが、ヤングケアラーの人が助け合ったり不安を吐き出す場所が必要だと思う。そういうところでネットを上手く使っていくべきだと思う。
322	ヤングケアラーが気軽に相談できるように、児童相談所などの機関のヤングケアラーへのサポートを強化したらいいと思う。
323	ヤングケアラーへの給付金を贈与するなどして支援する。
324	お金だったり食材などを給付したら良いと思います。 また、精神的にも辛い事があると思うので、身近に相談が出来るような環境があると良いと思います。
325	国からお金を貸す、あげる。保育のボランティア活動をする。（お弁当有りの保育）何かあつたらいつでも頼れるような空間を作る。色々な物の寄付。
326	ヤングケアラーである人がいるということ、できれば世界中の人々に知っていてほしいし、政府などの国の偉い方々が募金などの支援などをしていったほうが良いと思う。
327	相談できる場所は必要だと思います。
328	お金をたくさん配る。
329	寄付金をだしたりする。
330	お世話が必要な人のためにお世話をする人を増やす。
331	施設を作ったほうが良いと思う。

332	幼稚園や学校などの近くにその人達が住める建物を建てる。(週単位で住めて、毎週普通の家より安い家賃を払って貰う)
333	家族に対しての現金支援。食料支援。
334	無料でお世話サービス。
335	問題がある人が入れる施設をつくり、入りやすいように安くすること。
336	ヤングケアラーの人たちの憩いの場を作ったり、その人たちを手伝ったりする職業を作る・広めるなどを行うことが大切だと思います。教科書などで大きく取り扱ってもいいと思います。
337	ヤングケアラーの支援をひろげていくためには、相談がしやすいところを設けるのがまずは大切だと思います。
338	ヤングケアラーだと他の人のこともしないといけないので家では自分のことができないと思うので週に1回でも息抜きできる時間をつくったり、勉強を無料で教えてくれたりして他の人と変わらない時間をつくってあげることが必要だと思った。
339	政府からお金を貰えばいいと思う。
340	ボランティアなどで、ヤングケアラーの負担軽減をする。
341	お金。
342	子ども食堂を作る。支援金。
343	介護職の給料を高くする。
344	ヤングケアラーの支援を広げるため、生活や家事を支え、悩みを聞いてくれる人をたくさん増やし、そのような人たちを保護する施設をつくる。
345	支援金の交付や支援施設の設置。
346	支援するボランティア団体などを作る。
347	支援金とか給食みたいに食べ物を給付したらいいと思う。
348	保護手当での支給。
349	支援の仕組みをつくるための法律がすぐにもつくられる必要があると思う。
350	ヤングケアラーの手助けをしてくれる人を探す。 アルバイトとか中学校だったらダメとかあるからそれを少し緩くしたりしたらいいと思います。
351	施設をしっかりする。
352	ヤングケアラーを行っている人達は本来あるはずの自由な時間や勉強に励む時間などがそれによって削られているという問題点があるので、まずは一日にどの程度の世話などを行っている人を対象にするのかを明確にして、そのアンケートを各学校で行い、当てはまる対象者となる人の状況を学校の先生が家庭訪問という形で確認しに行き、認められた場合にその家族への支援、例えば国や地方公共団体などがその家族に対して何かしらの原因を持っている人の世話役をお金を出して派遣するなどを行う事が必要だと考えます。 まとめると、1. 明確に対象者を決める。 2. 本当かを確認。 3. 原因に対して適当な支援をする。
353	高校授業料の完全無償化に加えて、希望者には学習塾の授業料を一部負担したり、大学も無償化すべき。
354	ヤングケアラーが悩んでいることを話せる場所をつくる。
355	地域などで、その家にご飯を届けたり、定期的に掃除屋さんとかが行く。
356	ヤングケアラーが相談しやすい環境をつくる。
357	育児サポートの環境整備。支援員の提供。相談しやすいように環境整備。
358	支援金。相談しやすい先生・大人。サポート事業。
359	学校側が定期的に家庭の事情や生徒の状況を確認してあげる。 実際に親身に協力していない学校などはたくさんあると思うからそういうのを見逃さないようにする、もしくはヤングケアラーを支援する仕事の人たちがしっかり訪問したりする。
360	相談できる場所を作る。
361	募金活動などを行う。そして、メディアなどでヤングケアラーについてひとりでも多くの人に知ってもらい、社会的理解を広めて行くことが必要だと思います。
362	ヤングケアラーが通いやすい学校、職場作りや親の世話をしてくれる親戚や友達、ヘルパーさんなどの関係を築くことが必要だと思う。
363	収入の少ない家庭への政府からの支援。
364	補助金などの助成で、お手伝いさんのような人を雇って、自分の時間を作ってあげること。

365	高齢者を支えているヤングケアラーの人に高齢の方を施設に入れるためのお金を免除してあげてほしいです。
366	少子高齢化なので少しでも防ぐ為にも兄弟・姉妹が多い家庭がせめて何か金銭的な援助などがあつた方が共働きや労働時間が減って少しはヤングケアラーの負担が少なくなると思う。
367	夜勤活動などを減らし、なるべく子供に必要な最低限の環境を作る。
368	障害者学校みたいな障害者を独立できるように手助けする施設などをもっと増やしたほうが良いと思います。
369	必要だと思うことはヤングケアラーの人に国からお金をあげるのが良いと思います。
370	ヤングケアラーの人が困ったことがあつたときにすぐ相談できる環境が必要だと思う。
371	資金。
372	ヤングケアラーの方たちへの支援を広げるためには、まずその人たちが気軽に相談できる場を作るのが良いと思います。いることを把握しないと支援もできないので、このことは特に重要だと思います。
373	ヤングケアラーだということを明かせない人が多くいると聞いたので、ヤングケアラーと明かせるような場所を作ったり、このようにアンケートを沢山したらいいと思った。
374	ヤングケアラーの人たちのために学校を作ると良いと思った。
375	ヤングケアラーの人への補助や補助されている人への介護などをしてあげると良い。
376	家事代行サービスなどをできるだけ安く出来るように、国や自治体が支援をする。最低賃金を上げたりなどして、仕事を早く上がっても金銭的負担を最小限に抑えられるような対策をする。
377	募金などをして集まったお金で、介護施設に入れてあげるといいと思いました。
378	募金で金銭面の手助けをする。
379	税金などをヤングケアラーにもっとあてたらお金などに悩む人も減るし、死亡数や自殺数も減ると思う。
380	ヤングケアラーの人達に国や道からの5万、10万ぐらいの支給や、老人ホームや介護施設などの設置などを増やしたり、特別枠などの色々な取り組みが必要だと思う。 また、支援金などの形で募金活動をするのもありだと思う。 国からの支給やお金関係などは難しいことだと思うけれど、コロナが終わって少し落ち着いてきたら、また色々な取り組みが始まると思うのでその機会に考えてみてほしいと思う。
381	もし、家族にお世話が必要な人がいるなら、限界までやるのではなくて、周りの人に頼ったり専門家にそうんだりしてもいいと思う。例えば、デーサービスに通わせたり、家に来てもらって掃除をする仕事をやっている人もいるからそういう仕事をもっと広めたらいいと思う。 あと、認知症などの重症度を決める人達がいて、その人たちの人数が足りなくて、判断が遅れているのが現状だから、その仕事をみんなに広めてやってくれる人が増えたらいいと思った。
382	いじめ相談所をみんなが知っているように、ヤングケアラーが気軽に相談できる場所があることをみんなが知っているように定期的にプリントを作る。
383	介護施設に入るお金を用意する。
384	ヤングケアラーの人が困っていることを言いやすい環境を作る。
385	インクルーシブ教育など、障害のあるなしに関わらず一緒に学べる環境を増やすことが必要だと思う。(保育園、学童、塾など) 誰でも無料でいつでも相談にのってもらえる場所やコールセンターを増やすことが必要だと思う。
386	子供の自由や希望を奪ってしまうかもしれないという点で、子供が自由に自分の為だけに使える時間を作るべきだと思います。信頼出来る大人がサポートしてくれる制度、しかも金銭的にも厳しくない形でしてくれるものがあればいいのかなと思いました。学校でそのサポートについての公演みたいなものとか、実際にサポートしてもらいたい人はお試し期間を得て、本当にサポートしてもらおうか決めれる制度とかもあるといいと思いました。
387	募金や政治家によるヤングケアラーをサポートするようなことを今以上にすべき。
388	教育期間の発達や支援が必要な方へのボランティア活動などが必要だと思う。教育と学業の両立は難しいと思うので、ヤングケアラーと言われる方にも学校へ行けるような制度にしてほしい。
389	支援を広げるにはお金とボランティアが必要だと思った。
390	家政婦が気軽に雇いやすい社会になれば、ヤングケアラーや女性が家事をする負担などが、減るのではないかな。 日本は、家政婦を雇う人が少ないと聞いたことがあるので、例えば、ヤングケアラーを支援する団体や施設の方が、家政婦の方々に連携を取り、当事者の方達の家事をしてもらう。(金銭的余裕がない場合も考えられるので、料金は少しお安くする…など)そういったことをしてみるのはどうだろうか。

391	先生やカウンセラーの方に話すことができるが、そこに至るまでがとても勇気のいることだと思うので、もっと相談しやすい環境が必要だと思います。
392	自分がその状況の立場ではないので何とも言えないが、両親が共働きの家庭は仕方のない場合もあると思う。だから、相談できる場所や、協力してくれる人を作る制度を新たに考えてみるのがいいと思う。